

平成26年度 第2回 函館市南茅部地域審議会会議録

開催日時	平成26年10月29日 水曜日 午後3時00分～午後4時45分				
開催場所	函館市南茅部支所3階 多目的ホール				
内 容	<p>報告事項</p> <p>(1) 諸般の報告</p> <p>(2) 縄文文化交流センターの看板について</p> <p>(3) 縄文遺跡群に対する地域の取り組みについて</p> <p>(4) 平成26年度末に廃止する地域会館について</p> <p>(5) 古部体育館の廃止について</p> <p>議 題</p> <p>(1) 平成27年度地域別事業計画(案)について</p> <p>地域振興全般に関する意見交換</p> <p>その他</p> <p>(1) 地域審議会委員の任期満了に伴う委嘱までのスケジュールについて</p>				
出席委員	熊谷儀一委員	高谷委員	藤川委員	山下委員	遠山委員
	佐々木委員	木原委員	坂井委員	坂本委員	張磨委員
	齊藤委員	工藤委員	熊谷真理子委員	(計13名)	
	・報道関係	函館新聞社	北海道新聞社	(計2社)	
	・傍聴者	1名	(計1名)		
欠席委員	中村委員	野口委員	(計2名)		
事務局の出席者の職氏名	南茅部支所長	五十嵐陽子	企画部計画推進室計画調整課長	田畑聡文	
	同地域振興課長	西谷光一	同政策推進課長	手塚祐一	
	同市民福祉課長	小枝精一	同計画調整課主査	川口洋	
	同産業建設課長	川井敏彦	同政策推進課主任主事	江良規生	
	同地域振興課主査	飯田敏次	同計画調整課主事1級	江藤彰洋	
	同地域振興課主任主事	村上周平	教育委員会生涯学習部参事	阿部千春	
	南茅部教育事務所長	田名部洋			
	市立函館南茅部病院事務長	加我賢也			
					(計14名)

1 開会（午後3時00分）

事務局
(西谷課長)

ただ今より、平成26年度第2回函館市南茅部地域審議会を開会します。

2 会長あいさつ

熊谷会長

<挨拶要点>

皆さんどうもこんにちは。ご苦労様でございます。

皆さんには日中のお仕事でお疲れのところ、そして道内で初雪もございました。そんな寒い時期でございますけれども、多少の欠席がございますが、今までにない位の委員さんのご出席をいただきました。本日の審議会は、委員の任期2年の中での最後の審議会となります。関係の部局より企画部の田畑課長そして手塚課長、教育委員会から阿部参事のご出席をいただいております。よろしくお願いいたします。

本日の審議会でございますが、議題として平成27年度の地域別事業計画（案）の説明をいただきまして皆さんからご意見をいただく予定でございます。また、前回の質問されたことについての報告もございますので、委員各位の忌憚のないご意見ご提言を期待を申し上げて開会にあたってのご挨拶といたします。よろしくお願いいたします。

3 支所長あいさつ

五十嵐支所長

<挨拶要点>

皆様には何かとお忙しい中、ご出席をいただきまして心より感謝を申し上げます。本日の会議内容につきましては、平成27年度の地域別事業計画（案）をご審議いただく大切な機会となっております。私からも委員の皆様のご活発なご意見ご提言をお願いいたします。また、熊谷会長のご挨拶にもございましたが、現在の委員の皆様による最後の審議会でございます。皆様には平成24年12月のご就任以来、地域振興に向けての精力的なご審議ご提言の数々を頂いて参りました。この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。以上を申し上げましてご挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

4 出席委員の報告	
事務局 (西谷課長)	出席者13人。欠席者2人。 出席者が過半数に達しておりますので、地域審議会の設置に関する規程第8条第3項の規定により会議が成立していることをご報告いたします。
5 報告事項 (1) 諸般の報告	
熊谷会長	日程5の報告事項に入ります。 五十嵐支所長から諸般の報告についてお願いいたします。
五十嵐支所長	<p>それでは、私の方から諸般の報告をさせていただきます。</p> <p>1点目でございますが、平成26年第3回市議会定例会が、9月3日から9月25日までを会期に開催されました。南茅部地域の関連する項目といたしましては、広島県や礼文島で発生した土砂災害に関連して、函館市における土砂災害警戒区域の指定状況や大雨の時の避難勧告等の基準等について質問がございました。また、漁業振興策としてナマコ等を作り育てる漁業に関することや昆布の消費拡大に向けた取り組みに関しての質問がございました。</p> <p>2点目といたしましては、「商工会縄文まつり」でございます。今年で3回目になりますが、9月21日日曜日に東商工会の主催により「めざせ世界遺産！」と題して縄文文化交流センターで開催されました。私も顔を出させていただきましたが、大漁太鼓や安浦駒踊り等の郷土芸能や南茅部高校の生徒による縄文音楽と書道を融合させたパフォーマンス等、趣向を凝らした催しが行われた他、がごめ井やとろろ昆布汁の提供や世界遺産登録を願っての餅まきも行われました。特に、今年はイカール星人が世界遺産登録の応援に駆けつけたこともあり盛況に終わったところでございます。</p> <p>3点目といたしましては、「第14回南かやべとことん浜味祭り」でございます。今年は漁模様を考慮し、例年より1週間遅い10月12日日曜日に黒鷲漁港で開催されております。天候にも恵まれ、サケやブリなどの鮮魚販売の他、小学生の魚のつかみどりや来場者が参加した海産物の福引き、じゃんけん大会も行われ地域内外からたくさんの方にご来場いただきました。</p> <p>以上で私からの諸般の報告を終わります。</p>
熊谷会長	<p>報告が終わりましたので、質疑に入りたいと思います。 質疑ありませんか？</p> <p>(特に無し)</p> <p>ありませんので、質疑を終了いたします。</p>

(2) 縄文文化交流センターの看板について

熊谷会長 縄文文化交流センターの看板についてお願いいたします。

教育委員会 (阿部参事) 縄文文化交流センターの施設看板につきましては、開館当初ありませんでしたので、入館者からも要望があったところでございます。

それを受けまして、私どもの方で函館開発建設部さんと協議をいたしまして、開館1年後に駐車場の緑地帯に「縄文文化交流センター」という施設看板をつけてくださいというお願いをいたしまして、北海道開発局さんにつけていただいたという経緯がございます。当初は、施設のモチーフを生かしたコンクリート造りの目立つ看板の計画もしていたのですが、それについては、北海道開発局の駐車場等に立てる施設看板としては異質なものでございまして、やはり全道的に考えていった時に統一すべきということになりまして、現在の看板になったところでございます。

その他、縄文文化交流センターに至るまでに、電信柱等に10か所程度のあと何メートルという看板がございます。また、総合センターの曲がり角に小さなものがありますが、いずれにしてもまだまだPRが足りないものと思っておりますので、カーナビ等に載っていないところもありますから、そういったところをPRしながら、縄文文化交流センターの場所がより分かるような方策を考えて参りたいと考えております。以上でございます。

熊谷会長 このことについては遠山委員から出ていたものですね。何かありませんか？

遠山委員 今の説明のとおり、北海道開発局さんの作った看板は確かに私も確認している。これは縄文をテーマにした地域づくり、観光振興を図るということをテーマにした時に、函館市のスタンスとして、今世界遺産を目指している縄文遺跡群を何としても世界遺産に登録するんだという意気込みを、そこで感じるとするならばどうも希薄な気がしてならない。なぜ、看板のことを言うかという、ふるさと文化公園に、磨光小学校に上がって来る方とバイパスの方に2つふるさと文化公園の看板がある。それを考えた時に、まさに世界遺産を目指す中心になる施設としては、ちょっと手薄なのかなという気がする。例えば、三内丸山遺跡のランドマークである栗の木のタワーがある。これは三内だというイメージがある。南茅部の垣ノ島の縄文文化交流センターを見た時に私は、あくまでも国宝を展示した博物館があつて、それに併設した道の駅である。と思うが、道の駅に併設した博物館というような説明もある。きちんとした博物館としての位置づけをあの場所を通った人が、「あつ、ここは博物館なんだ。」、「ここに中空土偶があるんだ。」と分かるような看板が必要ではないかということを感じる。多分、必要を感じられていっつも、なかなか市の予算の都合もあり、阿部参事も苦しいということを感じたのでその心情を露呈した方がいいと思うがどうか？

熊谷会長 遠山委員の意見は、もうちょっと目立つようなということだと思います

	<p>し、私も同じ目立たせるのであれば、モニュメント的なものでも、中空土偶を展示しているので、はっきりそれと分かるような方がいいと思いますが、そのことも含めて阿部参事に今の遠山委員の質問に対して答えていただければと思います。</p>
<p>教育委員会 (阿部参事)</p>	<p>モニュメントの様なもっと目立つ看板をとということでございますが、それはあった方が非常に目立つこととなります。ただ、それには相当の予算もかかってくるでしょうし、周りの自然との景観の問題もあってデザイン性も考えていかなければならないことですので、これは持ち帰って教育委員会の中でも議論していきたいと思っております。以上でございます。</p>
<p>遠山委員</p>	<p>南かやべ縄文文化創生の会で以前会議をした時に、今のモニュメントの話があり、地域から幅広くご厚志を集めてモニュメントの建設をしようかという話があった。これは、公にしたわけではなく南かやべ縄文文化創生の会の中の話だが、総合センターの駐車場の角を借りて2、3メートル位の中空土偶のモニュメントをという議論をした事もあった。国宝の中空土偶のモニュメントを民間がご厚志を募って建設することに対して市としてはどのような考えであるか？かまわないものか？</p>
<p>教育委員会 (阿部参事)</p>	<p>私の答えられる範囲ですけれども、中空土偶については図形と立体で登録商標を取って管理してございます。この登録商標というのは、どこか民間に独占して扱わせることのないように取っているものでございますので、地域振興のためにそれを使うということであれば当然許可されるべきところだと思います。</p>
<p>熊谷会長</p>	<p>はい、よろしいですね。 それでは、前段の遠山委員の質問について、持ち帰って検討というお答えがございましたので、前向きに地域の皆様に喜んでもらえるような検討をしていただければと思います。 その他にありませんか？ (特に無し) ありませんので、質疑を終了いたします。</p>

(3) 縄文遺跡群に対する地域の取り組みについて

熊谷会長

縄文遺跡群に対する地域の取り組みについてお願いいたします。

地域振興課
(西谷課長)

はじめに、縄文に関係したこれまでの取り組みについて、少しご紹介させていただきます。

お手元に配付した資料は、支所で把握しているものとして、まとめたものですが、掲載漏れ等があった場合は、ご容赦願いたいと思います。

(資料：縄文関係各種取り組み(分野別)のとおり説明)

この他に、支所で予定していた取り組みとしては、平成23年度にカウンター等に置いて広告・宣伝できる机上プレート、支所内にも置いていますが、それと道路沿いや店頭等へ設置するフラッグ作成も計画しましたが、ちょうど世界遺産登録が予定より遅くなりそうな情勢があり、見合わせたこともありましたが、今後、世界遺産登録だけにこだわらず、道内唯一の国宝のPRということで取り組みを進めていきたいと考えております。

また、今年の1月に行われました、南かやべ縄文文化創生の会と市長のタウンミーティングで、市長からも「縄文文化交流センターに携わってる方、南かやべ縄文文化創生の会、それと若い人や例えば未来大・教育大なども一緒になって、地域活性化について、南茅部支所が協議の場をつくった方がいいのではないか」という提案もありました。

支所としても、個別の取り組みだけではなく、地域と一緒に取り進める必要があると考えておりますことから、9月の始めに南かやべ縄文文化創生の会、南かやべ縄文文化創生の会とは、各町内会、漁協、定置協会、商工会、北の縄文クラブなど多くの団体や個人で構成している会でございますが、この会と「縄文のまち・国宝のまちに向けた取り組みについて」ということで、意見交換を行ったところです。

この意見交換の中でも、様々な意見がありました。

縄文文化に関心を持ってもらうにはどうしたらいいかとか、統一したイメージキャラクターが必要ですかとか、フラッグの作成ですかとか、お互いの情報の共有ですかとか、リーダーの必要性ですかとか、役割分担ですかとか、世界遺産についての状況などについても、この中で情報共有しております。

この中で、感じましたことは、何をしたらいいのか、どう進めるのがいいのか、支所も含めてですが、皆さん悩んでいる状況にもあるということです。

一度に様々なことに取り組むことは難しいと考えておりますが、情報を共有しながら、役割を分担しながら、小さな事でも、できることから一つ一つ積み上げていって、縄文の気運を盛り上げていきながら、輪を広げ、特色あるまちづくりを進めていけたらいいなと考えております。以上でございます。

熊谷会長

このことについて、遠山委員の方からの質問であったと思います。何かありませんか？

遠山委員	<p>今の説明の中で、市長とのタウントーキングの中での市長の提案に対して、縄文に関する活動をしている団体との意見交換会という話があったが、確かに今言われているとおり、てんでばらばらな感じがしている。かつて、南茅部町時代にバイパス完成後の南茅部がどうあるべきかというプロジェクトチームを役場内に設けて、そこから派生して民間の団体、民間の方たちに呼びかけして、さらにプロジェクトチームを作ってバイパス完成後の南茅部の姿をディスカッションした経緯がある。民間が活動しているものはこの資料にも出ているが、それを統括する動きというのが支所の中になければならないと思う。支所が率先して、これらの個々に動いている団体をまとめていくような組織が支所の中にあって、そのもとで1つの統一した動きが進んでいく。例えば、博物館は、学術的な分野を調査研究しながら世界遺産登録に向けて進めていく中で、支所の役割というのは地域振興、観光振興の中で、車の両輪として進めていく機能が支所になればだめだと思う。幸い民間も動いているわけだから、それを統率する意味でも支所の中できちっとした、支所の脇に看板があるが看板だけでなく積極的な動きも大事だと思うが、この辺をどのように考えているのか？</p>
地域振興課 (西谷課長)	<p>遠山委員のおっしゃることも、私たちも十分に理解しております。縄文に関して申し上げますと南かやべ縄文文化創生の会というのは、そういうことをやろうということで作った会ですので、そのことを無視するわけにもいきませんし、お互いに協力しながら進めて行けるのが一番良いと考えております。今現在また連絡を取りながら進めておりますので、このスタイルで、うまく活性化に向けて進めていければ良いのかなと考えております。</p>
遠山委員	<p>私も南かやべ縄文文化創生の会の一員で、別に無視されているという気持ちは持っていないが、行政として市長の言葉から一步踏み出した段階で、これからいろいろな模索をしながら進んでいくわけでしょうから、その様な形でまさにリーダーシップを発揮していただきたいと思う。</p>
熊谷会長	<p>遠山委員、それから行政の方としての考えもありました。必要なのは各種関連団体の方で気のつかない点、もろもろあった中に情報発信なりというのも行政の方から必要なことではないかと感じておりますので、そういうことも実行しながら、各種団体が少しでも地域に貢献できる形で進めていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>後はありませんか？</p> <p>(特に無し)</p> <p>ありませんので、質疑を終了いたします。</p>

(4) 平成26年度末に廃止する地域会館について

熊谷会長

平成26年度末に廃止する地域会館についてお願いいたします。

市民福祉課
(小枝課長)

平成26年度末に廃止する地域会館についてご報告をいたします。平成25年度第2回地域審議会におきまして、「地域会館の今後のあり方基本方針」についてご報告しておりましたが、基本方針では平成29年度末までに1町内会1会館に整理統合することとしております。南茅部地域では、現在地域会館が15会館ございますことから、平成29年度末までに主要会館の8会館を除く7会館の廃止について関係する町内会と協議を重ねて参りましたが、平成26年度末に3会館、平成29年度末に4会館を廃止することで協議が整っております。つきましては、12月に開会されます第4回市議会定例会に平成26年度末をもって廃止する白井川会館、尾札部中央会館、双見会館の3つの地域会館廃止にかかる条例を提案する予定でございます。以上でございます。

熊谷会長

説明が終わりましたので質疑に入りたいと思いますが、このことについては各町内会の方とも一応お話しして方向が出されているということでございます。何かありませんか？

(無し)

無しという声があったので、後は各町内会にお任せするという事になろうかと思っております。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

(5) 古部体育館の廃止について

熊谷会長

古部体育館の廃止についてお願いいたします。

教育事務所
(田名部所長)

教育委員会から古部体育館の廃止についてのご報告になります。古部体育館とグラウンドにつきましては旧古部小学校の廃止に伴いまして、平成11年から地域体育施設としてご利用をいただいておりますが、年々利用者が減少し最近では全く利用者が無い年も続きましたことから、今年度をもちまして廃止しようとするものでございます。なお、これらの施設の廃止につきましては、地元古部町内会のご了解をいただいているところでございます。また、廃止後の活用につきましては、現在、旧古部小学校校舎を文化財保管庫として利用しておりますことから、教育委員会をはじめ各部局と協議して参りたいと考えておりますが、あわせて古部地区の津波避難所としても利用して参りたいと考えております。平成27年2月の第1回市議会定例会で、地域体育施設の廃止にかかる条例を提案する予定でございます。以上でございます。

熊谷会長

このことについて、質疑ありませんか？

遠山委員	<p>廃止後の活用方法は、今校舎の方を保管庫として使っているということなので、それに平行して同じく保管庫として使うという意味か？</p>
教育事務所 (田名部所長)	<p>校舎の方は、文化財課で使っておりますので文化財課とも協議しておりますが、今のところ希望は無いという返事をいただいております。ですけれども、現在体育館が津波避難所という形で指定されておりますので、何らかの形でこういう避難所も残さなければならないという実情もあります。教育事務所が今所管しておりますが、様々な検討を加え管理する方法を今検討している段階でございます。以上でございます。</p>
遠山委員	<p>お聞きしたのは津波に関する避難所であるというのに、保管庫として物が入ってしまえば後々困るだろうなと思って今質問をしたが、地域の協議はどのような形で進めているのか？</p>
教育事務所 (田名部所長)	<p>町内会も、平成22年から利用は無いという状況を承知しております。町内会長との協議では、体育施設としての利用が無いにしても、いざという時に避難所として使える施設が無いという状況にならないように、何とか使いたいという地域事情にあるわけです。それに対応するべく各部局にあたって、今後の利用を検討しているという段階でございます。以上でございます。</p>
遠山委員	<p>津波が来ると古部地区は大変な地域になると思うので、避難場所として確保しなければならないという部分と、ただいつ来るか分からない津波に備えておくのも大変なことだろうし、難しい選択が迫られるわけだが、地域との話し合いを十分にしながら今後の活用方法を協議してほしいと思う。</p>
熊谷会長	<p>他にありませんか？</p> <p>(特に無し)</p> <p>ありませんので、質疑を終了いたします。</p>

6 議題

(1) 平成27年度地域別事業計画(案)について

熊谷会長	日程6の議題でございます。 平成27年度地域別事業計画(案)について資料を基に説明をお願いいたします。
事務局 (西谷課長)	(資料1のとおり説明)
熊谷会長	ご存じのようにこの事業計画については、市の予算作成のための南茅部地域からの事業要望になります。全般にわたってここに記載されている以外のもの、皆さんが気のついた点がございましたら、市の方で受けていただけるかは分かりませんが、皆さんからのご要望があれば出していただければと思います。 どなたかありませんか?記載されているものでも結構です。
佐々木委員	8ページの特色ある地域文化の創造の中の大船遺跡等の保存・整備だが、大船遺跡の復元住居の老朽化が進み、中に入って見学できるが柱がもろくなっていて、ちょっと危ないなという感じがする。縄文時代を感じて見学していただく場としては、危険を感じるので、早めにひび割れや骨組みの修理を望んでいるが、その辺りをどのように思っているのか聞きたい。
教育委員会 (阿部参事)	大船遺跡の復元住居については、老朽化が進んできております。これは国の補助事業で復元したものでございまして、概ね10年を経ないと大規模な改修はできないものですから今現在、小修繕ということで施設担当の方に設計依頼をして、毎年少しずつでも、大規模にはいきませんが、少しずつ直していこうと取り組んで参りたいというところでございます。
佐々木委員	大事な遺跡であるし、危険だとかそういう思いで見るとか、触らないでくださいというのはちょっとおかしいと思うので、是非これは行っていただきたいと思う。
熊谷会長	今、阿部参事からお答えがあったように前向きに取り組む中ということでございますので、ご理解いただけていると思います。よろしいですか?
佐々木委員	はい。
熊谷会長	他にありませんか?
山下委員	8ページの既存スポーツ施設の整備で運動広場の野球場のバックスクリーンがあるが、できた頃から一度も洗っていないと思うので、本当は水色だが今はほとんど白色になっている、だから一回洗うとか掃除するとかそういう方向でできないのか?

<p>教育事務所 (田名部所長)</p>	<p>運動広場のバックスクリーンは大分年数が経って白っぽくなっておりませんが、合併建設計画でも運動広場の改修ということで一応計画はしておりますが、なかなか予算がつかないというのが実態です。今、教育委員会の中では校舎の耐震改修が一番の課題になっておりますので、それが一段落した後に教育事務所として予算の獲得に向けて努力していきたいと考えております。以上でございます。</p>
<p>山下委員</p>	<p>今年は大きな大会は無かったが、来年はきっとあると思う。いろいろな所からチームが来るので、できればやってほしいと思う。 もう1点は、事業計画とは関係ないことで知りたい。あそこは当初は軟式野球だけだったが、今はシニアとか大学生とか社会人だとかが硬式野球をやっている。運動公園だからいろいろな人が歩くし、車も止まっているが、もし事故があった場合にはどこが責任をとるとか明確にあるか？</p>
<p>教育事務所 (田名部所長)</p>	<p>今は指定管理者制度によりまして、指定管理者に委託しております。その中では、施設での事故には業者が保険加入しております。それで対応できると思います。高校生の硬式野球であるとか一般の硬式の練習も行っているようです。施設の利用という観点からなるべく制限をかけないで多くの人に利用してもらおうというスタンスでいるものですから、申請があれば使えるようにと思っておりますが、事故の無いように施設側とも気をつけていきますし、利用者に対しても気をつける旨を伝えていくように管理を徹底していきたいと考えております。以上でございます。</p>
<p>熊谷会長</p>	<p>他にありませんか？</p>
<p>木原委員</p>	<p>川汲の「うに種苗生産施設」、皆さんも見れば分かると思うが、使えない状態となり何年も前から立ち入り禁止となっているが、組合に聞いたら市の管轄と言われた。ただ縄だけ張ってあるが、もう壊れていて危ないのでなるべく早く解体してもらいたい。</p>
<p>産業建設課 (川井課長)</p>	<p>「うに種苗生産施設」、これは老朽化して崩れてきていると、早めの解体が必要と認識し、私どもも26年度の解体に向けてですね、関係部局とも協議しましたが、財政当局に全体的な予算の中で却下されまして実施できませんでした。今年は支所内でも優先順位を1位としまして27年度で何としても解体したいと、予算要求していくという状況でございます。予算を確保して27年度で実現したいと考えております。</p>
<p>熊谷会長</p>	<p>よろしいですか？ 他にありませんか？</p>
<p>坂本委員</p>	<p>そもそも論になると思うが、今、山下委員、木原委員からいろいろ意見が出ているが、実質、市の方でいろいろとこの点はどうだこうだと把握してい</p>

	<p>くのは素晴らしいことだと思うが、この資料を見た時に、何かやる事業というのは前年と大して変わっていないし、同じようなことばかりやっている。例えば、漁港の整備は確かに分かるが、漁港の整備と木原委員が言った施設とどちらが優先するのか？ひろめ荘の補修とあるが20年も経てば当然、悪くなってきているのは十分分かる。それと比べて山下委員が言ったバックスクリーンとの優先度合だとか、その判断はどこがするのが1つ。それと同時に一般市民のどこを補修してほしい、何をさせていただきたいという受付の窓口はどういうふうになっていて、どのような把握の仕方をして、どのような順位付けをしているのか、その辺が明確でない気がする。例えば、うに種苗放流はずっとやっているが、半永久的に続くのか、ある程度、計画立てて区切って、資源が大分回復したからOKじゃないかとか。その辺がどういうふうになっているのか分かれば教えていただきたい。</p>
<p>地域振興課 (西谷課長)</p>	<p>ご質問の趣旨は、地域内の課題に対する優先順位をどう決めるのだろうかということだろうと思います。これについては各担当課内で懸案内容を把握した場合に、それを予算要求するという段階になります。支所の中でも、今おっしゃられたように優先順位は決めます。皆様のご意見をいただきながら決めます。後は本庁の関連部局とも調整しながら決めていきます。この中で緊急度、費用対効果等、これを総合的に判断して決めていきます。そういう仕組みです。</p> <p>今のうに種苗放流という話ですけれども、これは漁業者の目線から見るとなかなか必要の高い事業だということで継続しています。ある一定の効果が見えた時に止めたらいんじゃないかという話でございますが、組合でも過去に、うに種苗放流を中止するという組合もございましたが、やはり継続することによって一定の水揚金額が見込めるとなると、やはり漁業振興施策としては続けていくという判断で実施するというところでございます。</p>
<p>坂本委員</p>	<p>木原委員が言った、どうみても優先度の高いものもあるので順位付けの再考の余地があると思いますのでその辺をうまくやってください。</p>
<p>熊谷会長</p>	<p>関連で、五十嵐支所長から何かありませんか？</p>
<p>五十嵐支所長</p>	<p>事業計画明細表でお示ししているとおり、各部門での予算付けというところも1つございます。支所の中では先程、川井課長がご答弁いたしましたけれども、来年度は、「うに種苗生産施設」の解体につきましては一番に何とか財政当局にお願いしてやっていこうと思っております。</p> <p>皆様のこういったご意見を頂いた方が、予算についての計画、要求ができると思いますのでいつでも言っていただければと思います。支所内で、まず整理をして、財政当局に協議をして、そのとおりになるかどうかということはあると思いますが、お話をして行きたいと思いますのでご理解をお願いいたします。</p>
<p>熊谷会長</p>	<p>老朽化した建物等については、市の方でもいろいろ頭を悩ませているので</p>

	<p>はないかと推察されますが、地域にあっては何年越しで行政にお願いしているものがなかなか処理されていないという状態であれば、先程、川井課長からお答えがあったように優先順位を上げて、新年度に早急に取り組んでいただくという方向で頑張ってもらえればと思っていますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>他にありませんか？</p>
遠山委員	<p>何点かあるが、3ページの観光の振興の「南かやべ保養センター・ホテルひろめ荘改修事業」に絡んで、よくこの施設を利用する方の話の中で温泉の温度管理が十分にできていないということを聞いている。その辺の調査を市としてどうしているのか？</p> <p>それから、ひろめ荘に行く途中に、道道臼尻豊崎線の途中未整備の部分がある。先日、大型バスでひろめ荘に行ったが、その細い道路の部分が非常に危険な所だと感じた。今、ひろめ荘はかなり集客力がアップしていて頻繁に車が行き交う場所だと思う。その未整備の部分についてどのような形で取り組んでいくのかを教えてほしい。</p> <p>それから、5ページの配水管整備について前にもお聞きしたが、私の家は毎朝水道を使う時に何分か流さないときれいな水が出てこない。そういう地域が多分あるのだろうと思うが、そういう実態調査を行っているかどうかをお聞きしたい。</p> <p>それから、縄文遺跡について、先日20人くらいの団体で縄文文化交流センターと大船遺跡に行ったが、素晴らしいガイドさんで、来た方は皆さん感激して帰ったわけだが、残念ながらよく聞こえない。20人もいれば結局ばらけてしまう。私は地元のため皆さんによく聞いてほしいなと思う。私が以前東北新幹線のトンネルの視察に行った時に、その関係者が、全員にワイヤレスのヘッドホンを渡してくれて、話すと全てヘッドホンを通して耳に入ってきた。例えば、縄文文化交流センターに関わらず奉行所も観光都市函館のイメージアップのためにも、団体で入って来た方にガイドする時には、簡易的なワイヤレスのヘッドホンを渡して、話すことが全部耳に入ってくるといった形の物を考慮すると、函館はすごいんだぞということで全国的にも広がっていくのかなという思いがした。とりあえずは、縄文文化交流センターでそのようなことをできないかどうかをお聞きする。</p> <p>先程、佐々木委員からあった縄文の復元住居の老朽化、骨組みの老朽化については、私も感じていたので、けが人が伴わないうちに、イメージダウンにならないうちに改修した方が良く思う。</p>
熊谷会長	<p>ひろめ荘の関係を、川井課長にお願いいたします。</p>
産業建設課 (川井課長)	<p>まず、私の方から1点目の南かやべ保養センターとホテルひろめ荘の温泉の温度管理について説明いたします。それについては、開館した当時から、今は指定管理者になっていますけれども、温度については、お客さん個々にぬるいのが好きだ、熱いのが好きだと様々でございます。温度管理については、一般的な温度を42度位を基本としております。露天風呂についても気</p>

	<p>候だとか気温であるとかいろいろございますので、従業員が随時検温しまして43度にしたり、44度にしたりしておりますが、なおかつ高いとか低いとかということがございます。指定管理者の方にはその時の状況とか検温をしながら調整してもらうということにしております。</p> <p>2点目の道道臼尻豊崎線、保養センターまで行く道路の途中ですが、私どもも、特に冬期間、カーブが凍結し危険であると把握しております。このことについては、渡島の建設管理部の管理になっております。建設管理部には私どもも実態を訴えまして、何とか太い道路に整備あるいは直線化をしてほしいと要望をしております。建設管理部の方も、用地交渉を行っておりますが、協議が整わない状況で未整備という状況になってございます。以上でございます。</p>
熊谷会長	はい、今のはよろしいですか？
遠山委員	<p>温度管理に関しては、個人の趣向があるでしょうけれども、多分苦情があるということは、その範囲を超えているからだと思う。その辺は私もまた聞きであるが、それを1人でなくて複数から聞いているので、もう一度その辺をきちんと調べてみる必要があると思う。</p> <p>それと道道臼尻豊崎線について、これは南茅部町からの懸案ですよ。例えば、ルートを全く変えるという選択肢はないのか？</p>
産業建設課 (川井課長)	<p>1つ目の温度管理の関係になりますが、先程言いましたように、随時従業員が検温しまして、なおかつぬるいだとかそういう苦情はあると聞いております。指定管理者には随時検温した後等に苦情があった場合には、その都度また検温していただいて、低い時には高い温度のお湯の供給を多くするようにとお願いしております。時間の経過、あるいは人の出入りでも温度が冷めていきますので、その時も随時の検温とお客様からの申し入れで、その都度対応するということにはなりますが、常時にというのは難しさもあるものですから、指定管理者に注意は促しておりますけれども、任せている状態でございます。</p> <p>それから、道道臼尻豊崎線のルート変更、全線なのかあの部分だけなのかということになりますと、全線は私どもは考えておりません。課題なのは、あそこの一部だけであると認識しています。あそこのカーブは、左側になりますと深い沢になって水たまりになっております。そのため液状化現象の心配があります。その辺を考慮すると擁壁の整備というのは相当難工事になることが予想され、直線化するのは難しいので、拡幅するよりないというところをしております。以上でございます。</p>
熊谷会長	よろしいですか？
遠山委員	はい。
熊谷会長	それでは、水道の関係についてお願いいたします。

<p>産業建設課 (川井課長)</p>	<p>これにつきましても、以前に委員さんから出ていましたが、私の方から答弁したいと思います。内情は私たちが所管していないため承知しておりませんので、遠山委員の家1戸の問題でなく地域でもあるのではないかということで、地域的な濁りの関係を把握しているかどうか調査をしているのかということを経業局に伝えまして、別途、事務局の地域振興課を通して、会長に報告した上で、委員さんに直接回答したいと思います。</p>
<p>熊谷会長</p>	<p>よろしいですね。</p> <p>次に、縄文文化交流センターのガイドについて、阿部参事からお願いいたします。</p>
<p>教育委員会 (阿部参事)</p>	<p>ご意見にありましたのは、音声ガイドではなくて、ヘッドホンということですのでよろしいでしょうか？説明者の声が聞き取れるようなヘッドホンの用意ということでございますが、これにつきましては費用がかかることですので、費用と効果を考えながら、どういう方法が良いのかを検討していきたいと思っております。</p> <p>それと大船遺跡の老朽化については、先程お答えしたとおり、来年度の予算が確保できるように努力しているところでございます。以上でございます。</p>
<p>熊谷会長</p>	<p>ガイドについては、今後の勉強ですね。</p>
<p>遠山委員</p>	<p>ガイドについては、素晴らしいガイドさんです。ただ残念ながら、声がよく聞き取れず結局ばらけてしまう。私はきちっと聞いてほしいという気持ちがあったので、そのためにはそういうヘッドホンがあれば良いなという思いがした。それが奉行所とか函館の観光施設の中でそういう問題があるのであれば、問題提起されながら函館市全体としてそういう取り組みをしていければ、観光都市函館のイメージアップにも繋がると思った。</p>
<p>熊谷会長</p>	<p>阿部参事、関係者の方からの聞き取り等も含めて調査した上で、前向きに対応していただければと思います。よろしくお願ひいたします。</p> <p>他にありませんか？</p> <p>(特に無し)</p> <p>ありませんので、質疑を終了いたします。</p>

7 地域振興全般に関する意見交換

熊谷会長	<p>日程7の地域振興全般に関する意見交換でございます。 どなたか質疑ありませんか？ 今回は、冒頭で申し上げたように最終の審議会となりますので、この2年間の中で何か気をつかれた点、先程縄文関連も含めていろいろと皆さん述べていますので、無いのかなと思いますけれども、よろしいですか？</p>
佐々木委員	<p>縄文文化交流センターのことで、地域審議会でたびたび出ている話題で、最後のため、もう一度しつこいけれども話したいと思う。 アクセスのことだが、車で来る人は道の駅があるので来られるが、いつも思うのはバスで来る個人でどの位の人たちが迷うのか？困るのか？支所に問い合わせがあったり、縄文文化交流センターに問い合わせがあったりということが多いものなのか？ 個人で来た時に、どう行くのですかという問い合わせは結構あるのか？</p>
地域振興課 (西谷課長)	<p>最近は無いですけれども、開設当時は数件ございました。バスで来た場合にはどこで降りたら良いか。どういうふうに行ったらいいのだろうという問い合わせです。以上でございます。</p>
佐々木委員	<p>実は、地域の人たちはそれをどんなふうに説明しているのかなと、札幌とか遠くから来た知人と縄文文化交流センターに行った時の話をした時に、アクセスの話が出た。よそから来た人たちの思いが、とても不便だよな、ああいう物があるのに不親切だなということで、それに対して地域の住民として恥ずかしさを感じた。地域の人たちは当たり前、あそこで降りて後は歩くんだよ、という感じだろうけれども、地域外の人たちからもう少し工夫がほしいよね、という声を聞いたので、その辺りの意識について、支所はどんなふうにみているか聞きたい。阿部参事、縄文文化交流センターにもそういう意見はありませんか？遠くから来た人たちが不便だよねという。車で来るのは良いけれども、歩くのは不便だよねというのは無いですか？</p>
熊谷会長	<p>過去にも縄文文化交流センターに行くためのアクセスについて意見が出ましたが、最終的には行政の中でというわけにいかないの、函館バスとの協議ということで、誰かからのお答えがあったと記憶していますが、今後どうするかということになれば、まだ関係機関とも協議をしていかなければならないのかなと思います。その辺の見解について阿部参事から、もしよろしければお願いいたします。</p>
教育委員会 (阿部参事)	<p>ご指摘のとおり、確かにバスで来た時の案内というのは、地元の人以外には分かりにくいところがあるかと思います。今、縄文文化交流センターにおいては年間1件か2件とかなり少なくなってきました。 遠くから来る人は、空港からタクシーで来るという人たちもおります。やはり、バスで来られる方も何人かいて、何とかたどり着くという形ですが、</p>

	<p>途中の看板を増やす等しながら迷わずに来られるような工夫をしていきたいと思っております。</p> <p>バスについてはシャトルバスを走らせるとか、例えば、路線を変更してバイパスを通すとか、となると関係機関や函館バス等と協議していかなければならないことですし、かなりの困難さがあると思いますので、当面は分かりやすい案内をすることを心がけて行くしかないと考えているところでございます。以上でございます。</p>
熊谷会長	<p>先程の遠山委員の看板の件と関係しますので、後は参事から説明があったようにシャトルバス等が必要であれば関係機関との協議と、今後の課題ということで理解していただければと思います。</p>
熊谷会長	<p>はい、山下委員。</p>
山下委員	<p>中空土偶の写真は自由に使えるものか？</p>
教育委員会 (阿部参事)	<p>中空土偶の写真については申請が必要ですがけれども、基本的には特に支障が無い場合は使ってかまわないということになっております。私の方に来ていただければデータをお渡しいたします。</p>
熊谷会長	<p>はい、工藤委員。</p>
工藤委員	<p>縄文の話題が出ているので1つ聞きたい。世界遺産登録と言っているが、その条件とかこちらの働きかけとか、世界遺産と言うと新しい所だと富士山とか、マチュピチュだとか失礼な言い方だがそれと比べると雲の上の話という気がするが、手応えは、例えば100メートル走ならどの位置なのか？</p>
教育委員会 (阿部参事)	<p>縄文文化については、国内ではあまり知られていないところがございますが、海外的には非常に評価が高く、国際会議でもこれは間違いなくいくだろうという評価を得ております。</p> <p>ユネスコの世界遺産登録の状況ですがけれども、これについては、今まで地域的にはヨーロッパに偏っていて、種別的には中世の寺院とか城とかに偏っているという反省がありまして、今は地域的にはアジアやアフリカ、時代的には先史時代という流れなので、日本の縄文と言うのは極めて優位な状況にあります。ただ、北海道・北東北の4道県でやっておりますので、なかなか統一したストーリーを出していくというのが難しいところです。課題はなぜこの範囲に限るのかという理由づけをしっかりと行こうということと、個別の資産で史跡を追加しなければならない部分がある等、いろいろとありますのでそれらを整理していくというところで、100メートル走で言うと非常に厳しい表現になるかもしれませんが、「長崎の教会群」が今年の推薦になりました。本当はここと並んで同じ時期に暫定リストに載っておりましたのでここと競争していたのですけれども、抜かれました。</p> <p>後は、「佐渡の金山」とか「宗像・沖ノ島」とか、そうそうたる所と競争</p>

熊谷会長	<p>しているというところで、実質4つ位で争っているという状況でございます。100メートル走で言えば推薦までは、かなりゴールに近い所にいるのですが、そこから進まない状況で、いい所まで一気に進んだのですけれども、今、足踏みをしているという状況でございます。是非地元のご支援をお願いしたいと思います。オリンピックと同じように地域がどれだけ盛り上がっているかというのも、イコモスというユネスコの調査機関の調査対象となりますので、そういう部分でもご支援をよろしくお願いしたいと思います。以上でございます。</p> <p>こういう1つの事にですね、皆さんのいろいろな意見を出すとか議論するというのは、大変良いことと思います。地域の活性化のためにもプラスになるのではないかなと思います。阿部参事の方からありましたように、登録に向けてゴール寸前であるということでございますので、可能なところをバックアップしていければと思います。</p> <p>他にありませんか？</p> <p>(特に無し)</p> <p>ありませんので、質疑を終了いたします。</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

8 その他

(1) 地域審議会委員の任期満了に伴う委嘱までのスケジュールについて

熊谷会長 日程8のその他でございます。
地域審議会委員の任期満了に伴う委嘱までのスケジュールについて説明をお願いいたします。

事務局
(西谷課長) (資料2のとおり説明)

熊谷会長 皆さんの任期が今回で一応一区切りということでございます。12月から合併建設計画が5年延びた関係で地域審議会も5年間継続ということになっておりますので、できれば、今委員をされている皆さんがそろって12月に顔を合わせていただければ、そしていろいろな意見をいただければと思いますけれども、それぞれの各種団体の都合もございますから、西谷課長なり関係部局の方から相談に来られましたら、新しい委員さんについて何とぞよろしく協力のほどをお願いしたいと思っております。

このことについては、質疑ありませんか？

(特に無し)

それでは、その他の中で次第にはありませんけれども、企画部から田畑課長、手塚課長が来ております。

合併してから10年になります。合併10周年記念フォーラムを開催する予定とのことですので、このことについて田畑課長から説明をお願いいたします。

企画部
(田畑課長) 委員の皆様、2年間どうも大変お疲れ様でした。私の方から今のフォーラムの件ともう1点報告事項がございます。

まず1点目は、合併建設計画の延長と地域審議会の設置期間の延長についてでございます。合併建設計画につきましては、昨年10月の当地域審議会におきまして、計画の変更の諮問をさせていただきまして、この4月に計画期間の延長が妥当であるという答申をいただきました。それを受けまして変更案として、先般9月の市議会の方に議案として提出しまして審議いただき議決をいただきました。これによりまして、正式に合併建設計画が、平成31年度までの5年間の延長ということが決定しましたことを報告いたします。それとあわせまして、地域審議会におきましても、今年度までの設置期間ということでございましたが、合併建設計画の延長に伴いまして地域審議会も条例によりまして5年間延長ということで、9月議会で議決をいただき正式に決定しましたことを報告いたします。

関連いたしまして、この4月に函館市が全域過疎地域に指定となりましたことから、あわせまして過疎計画、正式には過疎地域自立促進市町村計画と申しますが、そちらの内容も変更ということで議決をいただきました。今後におきましては、両計画に基づきまして有利な財源であります合併特例債、

	<p>過疎対策事業債，こういったものを活用しまして限られた予算でございますが，そういったものを有効に活用して地域振興に関わる事業を実施して参りたいと考えておりますので，引き続きご理解をいただきたいと思ひます。</p> <p>もう1点の，合併記念フォーラムでございます。この12月1日をもちまして，合併して10年の節目の記念の日を迎えることとなりますことから，このフォーラムを企画させていただきました。内容につきましては，このフォーラムの企画を担当しております，企画部計画調整課の川口主査からご案内申し上げます。よろしくお願ひいたします。</p>
<p>企画部 (川口主査)</p>	<p>企画部計画調整課の川口と申します。私の方からチラシを配布させていただきましたが，合併10周年の記念フォーラムの開催について，簡単に説明をさせていただきます。今回合併10周年ということで，これまでの10年間のまちづくり，そして歩みを振り返るとともに，これからさらに発展していくために，まちの姿と言ひますかまちの将来像を描くきっかけになればということで，このフォーラムを開催させていただくことといたしました。日時と会場につきましては，お手元に配布しましたチラシに記載のとおり，12月1日月曜日の15時から17時までの約2時間を予定しております。会場は，恵山に建設しましたコミュニティセンターとしております。こちらは大体270名が収容可能ですので多くの方々に集まっていただくことができるのかなと思っております。内容は，先般9月初旬に地域審議会の皆様をはじめとしまして住民の方々のご協力のもと，北海学園大学の学生がいろいろと検証調査・意識調査ということで地域に入らせていただきましたが，その研修成果の報告を予定しております。学生の方が再度来函していただきまして，その場で報告をさせていただくことにしております。この合併調査の指導をいたしました北海学園大学の西村准教授にコーディネーターをしてもらひまして，4地域それぞれから住民代表1名ずつ，そして各支所長にパネリストとして登壇していただきまして，これからのまちづくりということテーマにしていろいろと語り合ひていただきたいと思ひております。今日お配りしたチラシは，今月末に配布予定の市政はこだての11月号に折り込みまして住民の皆様にお知らせしたいと思っておりますが，地域審議会の皆様におかれましては，何か折に触れて地域の方々にお知らせご案内していただければと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。以上でございます。</p>
<p>熊谷会長</p>	<p>ただ今の件について質問がございましたらお聞きしたいと思ひます。</p> <p>(特に無し)</p> <p>無いようでございますけれども，時間を取れる方については，なるべく参加をお願ひしたいと思っております。</p> <p>よろしいですか？</p> <p>(はい)</p>

<p>企画部 (手塚課長)</p>	<p>それでは、続きまして手塚課長の方から東部4地域の公共交通の検討状況について、説明をお願いいたします。</p> <p>(資料：東部4地域の公共交通の検討状況のとおり説明)</p>
<p>熊谷会長</p>	<p>現在の交通体系、実績報告等も踏まえてですね、今後地域の交通網のあり方について検討したいということでございます。</p> <p>1つお聞きしたいのですけれども、ここに函館市生活交通協議会というのがありますね、こういう実績を基にして協議されると思いますが、4地域の住民の中から協議会に参加している人というのは？</p>
<p>企画部 (手塚課長)</p>	<p>函館市生活交通協議会の構成員としましては、交通事業者、国、道、市、公募の委員と様々な分野の方々に構成員となっていていただいて協議していただいております。</p> <p>4地域につきましては、榎法華支所長に参画いただきながら協議いただいているというところでございます。</p>
<p>熊谷会長</p>	<p>上の方で進められているような感じがしますが、地域の利用者の声も反映させていかないと実態にあった交通体系というのとはとれないのではないのかなと思いますし、それぞれまた各地域から出てくるものもあると思いますので、その辺も考慮して今後のあり方について、4地域から何人かということではなくても、それなりに関連ある人たちを入れた会合をもってほしいと思います。</p>
<p>企画部 (手塚課長)</p>	<p>会長から運営についてのご要望をいただきました。なかなか協議会の中に、また新たにということでは議論が必要なのかなということがございますが、地域の声というものは大事なところでございますので、支所等を通じていろいろ協議をさせていただきながら、今後進めていければと思っておりますので、ご理解いただきたいと思います。</p>
<p>熊谷会長</p>	<p>関連で何かありませんか？</p> <p>(特に無し)</p> <p>まだ、どうこうするようには決まっているわけではありませんので、また地域審議会に関連でこのことについて出て参りましたら、皆さんからご意見を聞きたいと思いますのでよろしくをお願いいたします。</p> <p>その他のその他で無いですね？</p> <p>(特に無し)</p>

長時間にわたって今日は、委員の任期の最後ということで発言も多くいただきました。大変ありがとうございます。

以上で今日の地域審議会は全て終了したわけでございます。

一言、お礼のご挨拶をさせていただきます。

ご存じのとおり平成16年12月1日に市と合併して10年になります。

委員の皆様につきましては、会議のあるごとに、いろいろな経験をしていただきまして、そして、合併建設計画の中に少しでもプラスになったのかなという思いもしております。

今回の審議会につきましては高谷副会長とともに皆さんの温かいご配慮と職員の皆さんからも様々なご支援をいただきまして、何とか職責を全うすることができたという思いでございます。

結びになりますが、皆様にそのことの感謝を申し上げながら、これからの南茅部地域のさらなる振興と発展、関係の皆さんに今後機会がありましたら、またいろいろとご協力を申し上げまして、本日の会議の終了のご挨拶とさせていただきます。

どうもありがとうございました。

(午後4時45分 閉会)